

2023年度

自己評価・学校関係者評価結果報告書

評価対象期間

自：2022年4月

至：2023年3月

令和6年6月

学校法人村上学園

サンデザイン専門学校

学校関係者評価委員会

1. 2023年度学校関係者評価委員会

矢澤 謙一 科学技術学園高等学校 名古屋分室長
大野 治彦 大野治彦税理士事務所
中村恵利花 卒業生

本校評価委員

山田 敏雄 理事長・校長
飯田 邦彦 専門課程主任

2. 学校の教育目標

どんな社会情勢の変化にも対応しうる幅広い一般教養を身につけ、豊かな人間性を持った専門業界で活躍できる人材育成をめざす。

本年度に定めた教育目標

- ・ 個々の学生の能力・個性を把握し、的確な指導を行なうことにより、専門技術の修得を目指す。
- ・ 主体的に課題に取り組み問題を解決する能力を育て、時代のニーズに対応できる人材を育成する。
- ・ コミュニケーション能力を育て、社会を生きるために必要な能力を育てることを目指す。

3. 評価項目の達成を呼び取組状況

1) 教育理念・目標

評価項目	評価			
学校の目標・育成人材層を定めているか	④	3	2	1
学校の職業教育の特色は明確か	④	3	2	1
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか	4	③	2	1
各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

【課題】

グラフィックデザインにおいては技術革新が広がり、より高度な技術と付加価値が求められている。グラフィックだけにとどまらない、ヒアリングやディレクション、プレゼンなどの能力が求められている。

【改善方策】

専門スキル以外にも目を向け、ビジネスやディレクションを身につけ、セルフブランデ

ィング能力を目標に人材育成を行っていきたい。

2) 学校運営

評価項目	評価			
目標等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	③	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

【課題】

自己評価及び、学校評価の結果から改善と情報を適正に公開していく。

学生・学校間のより速いシステムによる情報共有が必要である。

【改善方策】

今年度はアプリを通じた、出欠席等の情報共有システムを導入した結果、生徒、保護者にとの正確で迅速な情報共有が実現している。

3) 教育活動

評価項目	評価			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

【課題】

学生のスキルアップを考えると実習時間の拡充が望ましい。しかし限られた時間数や人材等のリソースを考えると、取捨選択が大変難しい。

【改善方策】

現行の制度を見直し、学生のニーズや就職状況を考え、新しいカリキュラムの体系を模索する必要がある。

4) 学修成果

評価項目	評価			
就職率の向上が図られているか	4	3	②	1
資格修得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
卒業後のキャリアアップ形成への効果を把握し、学校教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

【課題】

就職を希望する者が少なく、現状のアルバイトを継続するものが多い。また、就職希望者に関しても求人があってもマッチングが合わず、就職率の向上が難しい。

【改善方策】

求人率は上がり就職環境は改善してはいるため、学生には専門職以外の他分野に目を向けてもらい、幅広い就職活動を促す。

5) 学生支援

評価項目	評価			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
学生の生活環境への支援は行なわれているか	4	③	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
高等学校・専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行なわれているか	4	③	2	1

【課題】

心理的な問題により、長期欠席を余儀なくされる学生が出てきてしまう。個人的問題に根差しているため、改善等が非常に困難である。

【改善方策】

学生とのコミュニケーションを密にし、学生の状況を常に把握しておく。
経済面での支援に関しては、給付支援などを活用し経済的支援対策を行う。

6) 教育環境

評価項目	評価			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
学内外の実習設備、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	②	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

【課題】

施設・設備の経年変化への対応策。

【改善方策】

随時、計画的に対応し円滑な運営を目指す。

7) 生徒の受け入れ募集

評価項目	評価			
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	4	③	2	1
学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	4	③	2	1
学生納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

【課題】

見学会、学校説明、学校案内の配布など、今後もPR活動を強化していく必要がある。

【改善方策】

インターネット介したPR方法など、広報活動を拡充する。

8) 財務

評価項目	評価			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	②	1

予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

【課題】

前年度からのかだいとして、入学者数が高等課程からの進学者に左右されるため、安定化が難しい。新規入学者は例年数名ながら入学しているが、入学率はなかなか向上しない。

【改善方策】

引き続き、学校見学等の充実などさらなる広報活動の拡充をはかり、入学者数の安定を図り財政基盤の安定を行いたい。

9) 法令順守

評価項目	評価			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

【課題】

SNSの活用が広がる中、個人情報の運用を厳正に管理する必要がある。

【改善方策】

個人情報の重要性を教員全員が認識し、慎重な運用を遵守すし学校外への持ち出しを一切禁止する。

学生の写真等の掲載には、本人の確認を必ず取る。

10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	②	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

【課題】

夏季休業期間を利用した小中学生向け講座の開講や、日曜を利用した絵画教室など、順

調に継続している。

また、授業においては、名古屋市人とペットの共生サポートセンター等の地域の団体に協力し、ポスター・パンフレット等の制作を行っている。

【改善方策】

今後とも様々な団体とのつながりを大切にし、授業の中にも取り入れ貢献していきたい。